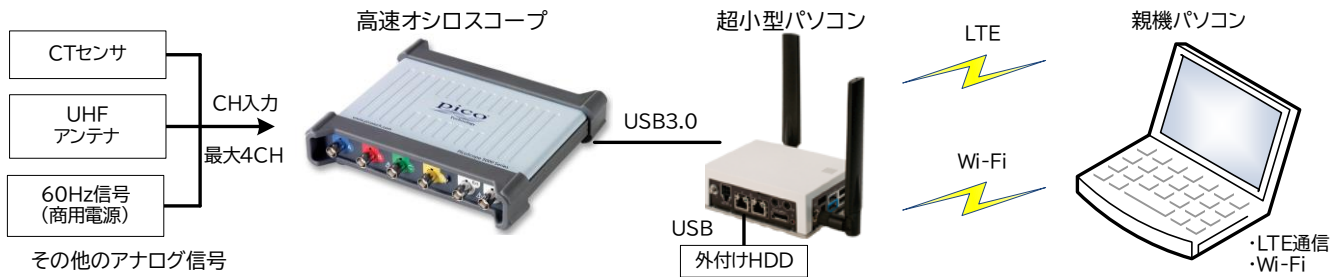


【個別技術紹介】 遠隔監視機能付き波形記録システム

本システムは高速オシロスコープにより記録した波形データを遠隔監視可能なシステムです。



システム構成

● 高速オシロスコープによる波形データ記録

高速オシロスコープで測定した波形データを記録可能 (※1)

波形データ記録停止条件を任意に設定可能 (※2)

※1：1 回分の最大波形記録長は 715ms (サンプリング周波数 250MHz、4ch 時)

外付け HDD を使用することで複数回分の波形データを自動保存可能

※2：立上り・立下りエッジ、ウィンドウ (範囲指定) トリガ、パルス幅など

● 遠隔監視・制御

LTE や Wi-Fi で親機パソコンとリモート接続することで遠隔地から波形データを監視可能
 当社で開発した波形表示ソフトを親機パソコンに搭載することで、遠隔地から高速オシロスコープの制御と波形データの表示が可能。

〔注意〕：LTE 通信機能使用時は別途 sim が必要です。Wi-Fi 通信機能使用時は別途 Wi-Fi 子機が必要です。

● コンパクトな機器構成

コンパクトな高速オシロスコープと超小型パソコンにより可搬性と設置性に優れる

高速オシロスコープ : 190(W)×170(D)×40(H)、0.5kg

超小型パソコン : 122(W)×93(D)×41(H)、0.5kg (名刺×2 枚サイズ)

名称	主要諸元
高速オシロスコープ	<ul style="list-style-type: none"> ・Pico Technology 社製 「PicoScope」 ・アナログ入力 1~4ch ・サンプリング周波数 62.5M~1GHz ・波形記録長 1~715ms (@サンプリング周波数 250MHz)
超小型パソコン	<ul style="list-style-type: none"> ・電源要件 AC100V ・AD 分解能 8~16bit ・入力電圧範囲±10mV~±20V ・波形データ記録停止条件 (立上り・立下りエッジ、ウィンドウ、パルス幅など)
	<ul style="list-style-type: none"> ・インターフェース社製 「SuperCD」 ・Windows10 IoT Enterprise2016 LTSB(64bit) ・LAN(2 ポート)、USB(4 ポート、USB2.0×3、USB3.0×1)、電源要件 AC100V

＜適用例＞ 遠方設備監視 (常時監視、異常アラーム、異常診断)

波形表示ソフトは表示方法のカスタマイズ等も可能ですので当社にご相談ください。